

# ストップ！地球温暖化



現在、世界各地で頻繁に発生している異常気象や洪水・干ばつなどの自然災害。これらの原因の一つとして、地球温暖化が考えられています。



近年、進行している地球温暖化には、さまざまな要因が考えられています。各種の温室効果ガス、中でも二酸化炭素の影響が最も大きいといわれています。現代社会では、さまざまな場所で石油などの化石燃料が使用され、二酸化炭素が大量に作り出されています。この二酸化炭素を減らすことが温暖化を食い止める第一歩です。

市では、ごみの減量化やリサイクルの推進など、温暖化防止のために各種の事業を行っています。しかし、それだけでまだ十分とはいえません。家庭での小さな心掛けの積み重ねが、より大きな効果をもたらします。まず、皆さん一人一人が、できることから始めましょう。

くわしくは 環境課環境係

☎(21) 5 1 5 2

## < 家庭でできる 10 の取り組み >

項目	一世帯当たりの年間CO2削減効果	一世帯当たりの年間節約効果
①冷房の温度を1度高く、暖房の温度を1度低く設定する	約 31kg/年	約 2,000円/年
②週2日、自動車の運転をひかえる(1日8km程度)	約185kg/年	約 8,000円/年
③1日5分間のアイドリングストップを行う	約 39kg/年	約 2,000円/年
④こまめに主電源を切り、待機電力を90%削減する	約 87kg/年	約 6,000円/年
⑤家族全員がシャワーを1日1分間減らす(1家族3人で計算)	約 65kg/年	約 4,000円/年
⑥風呂の残り湯を洗濯に使う	約 17kg/年	約 5,000円/年
⑦炊飯ジャーの保温を止める	約 31kg/年	約 2,000円/年
⑧家族が同じ部屋で団らんし、暖房や照明の利用を2割減らす	約240kg/年	約11,000円/年
⑨買い物時はマイバックを利用し、レジ袋を使わない	約 58kg/年	—————
⑩テレビの視聴を1日1時間減らす	約 13kg/年	約 1,000円/年
合計	約766kg/年	約41,000円/年

(出典：全国地球温暖化防止活動推進センター)



以上の取り組みで、1世帯当たり年間約766kgの二酸化炭素の削減になります。これを日本の全世帯で行うと、年間約3,470万トンの二酸化炭素の削減になり、日本の京都議定書基準年(1990年)の温室効果ガス排出量：12億2,380万トンの2.8%も削減できます。

また同時に、これらに取り組むことで、1世帯当たり年間約41,000円も節約できます。環境のため、家計のために家庭でぜひ取り組んでみてください。